

2014年衆院選

昨年末におこなわれた衆議院議員選挙
投票前の候補者アンケート結果を当選者のみで集計してみました。

集計方法

朝日新聞社の「朝日・東大共同調査」における候補者アンケート結果から (参考資料①)
当選した候補者のアンケート回答のみを私が集計

小選挙区での当選 : 295人分
 比例区との重複立候補で比例区当選 : 121人分
 合計 416人分の集計
 (比例区のみで立候補し、当選した59人は含まない)

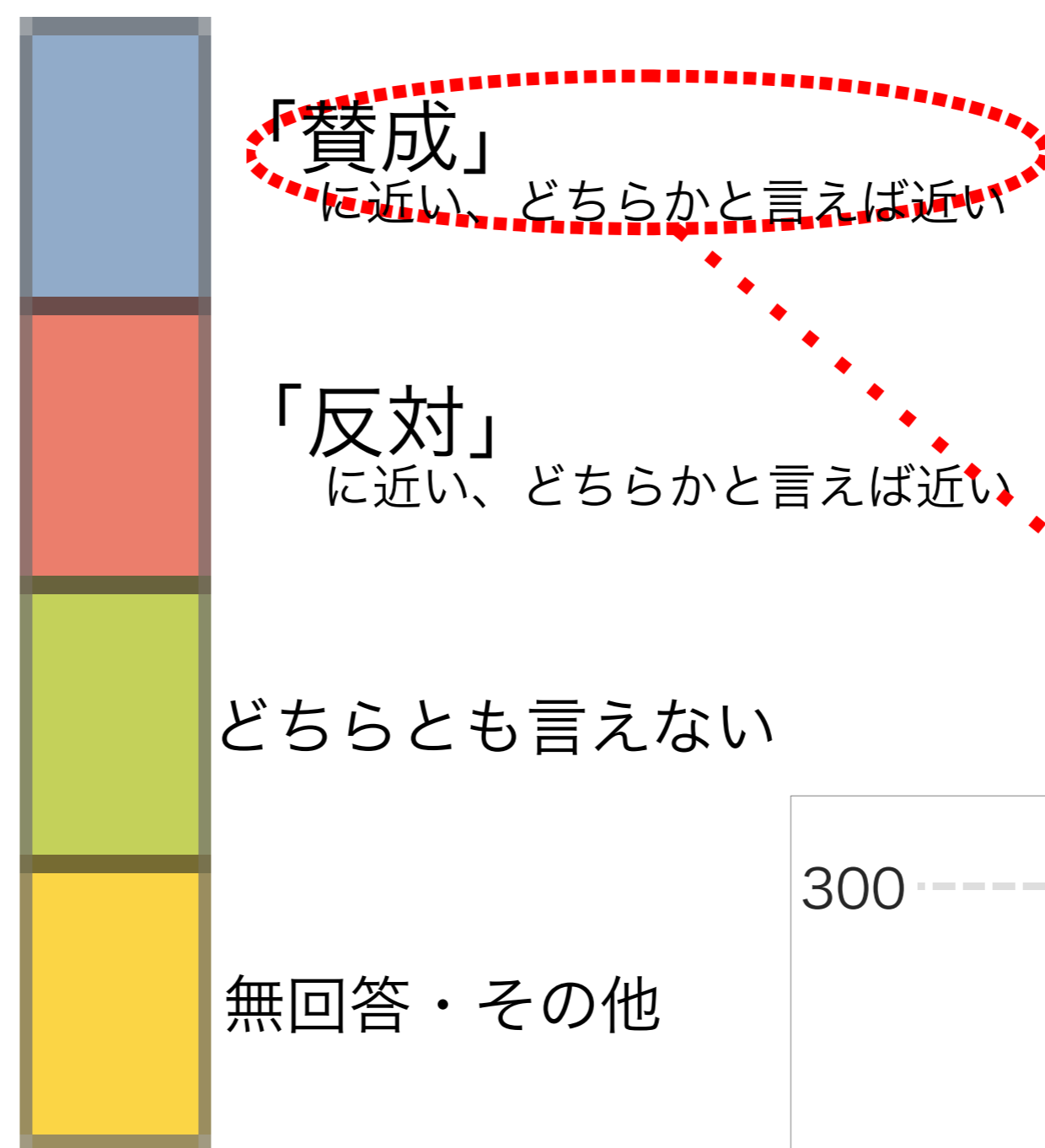
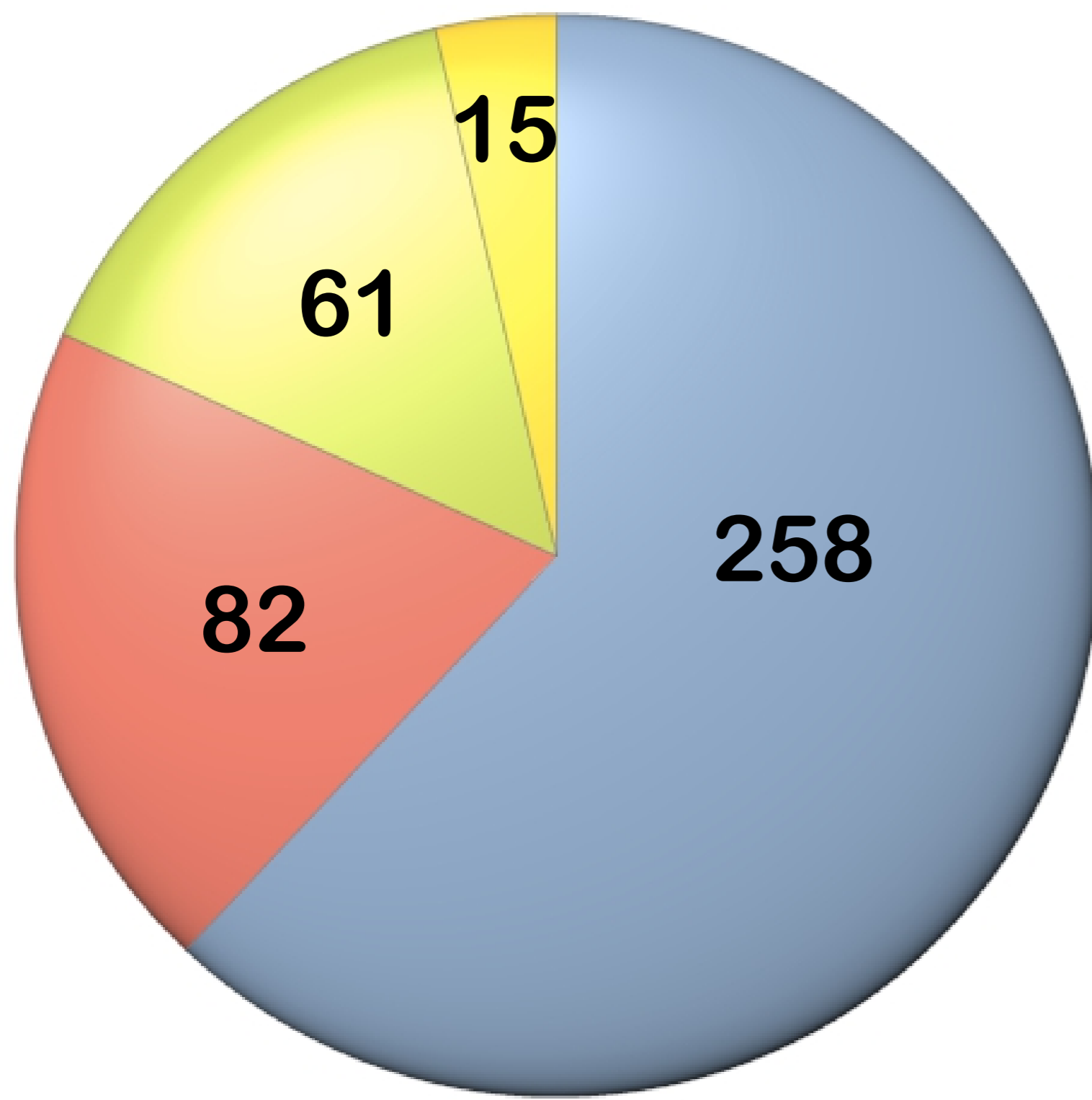
比較のため2012年衆院選での同じアンケート結果も同様に集計 (参考資料②)

小選挙区での当選 : 300人分
 比例区との重複立候補で比例区当選 : 125人分
 合計 425人分の集計
 (比例区のみで立候補し、当選した55人は含まない)

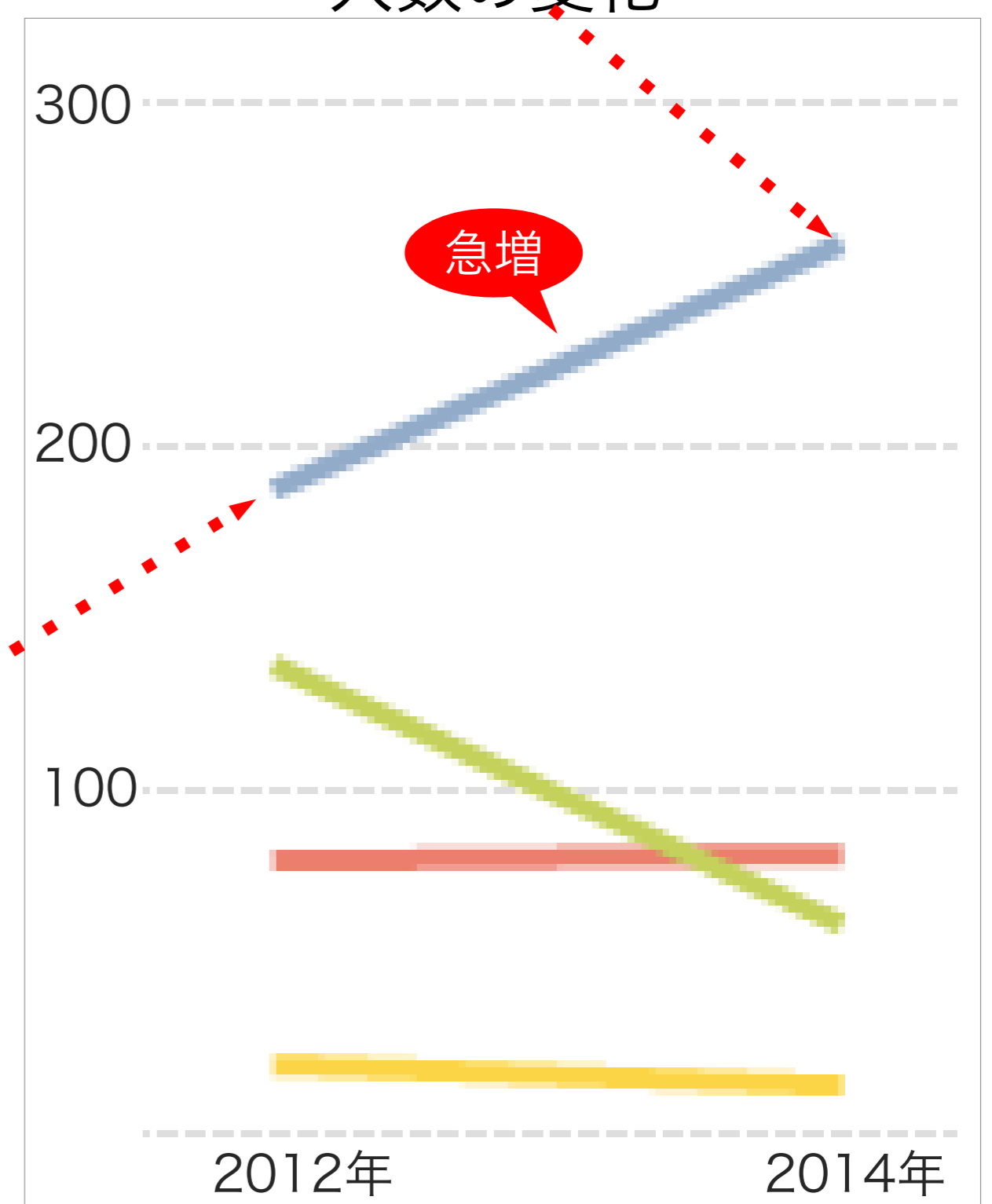
原発再稼働

2014年12月衆院選

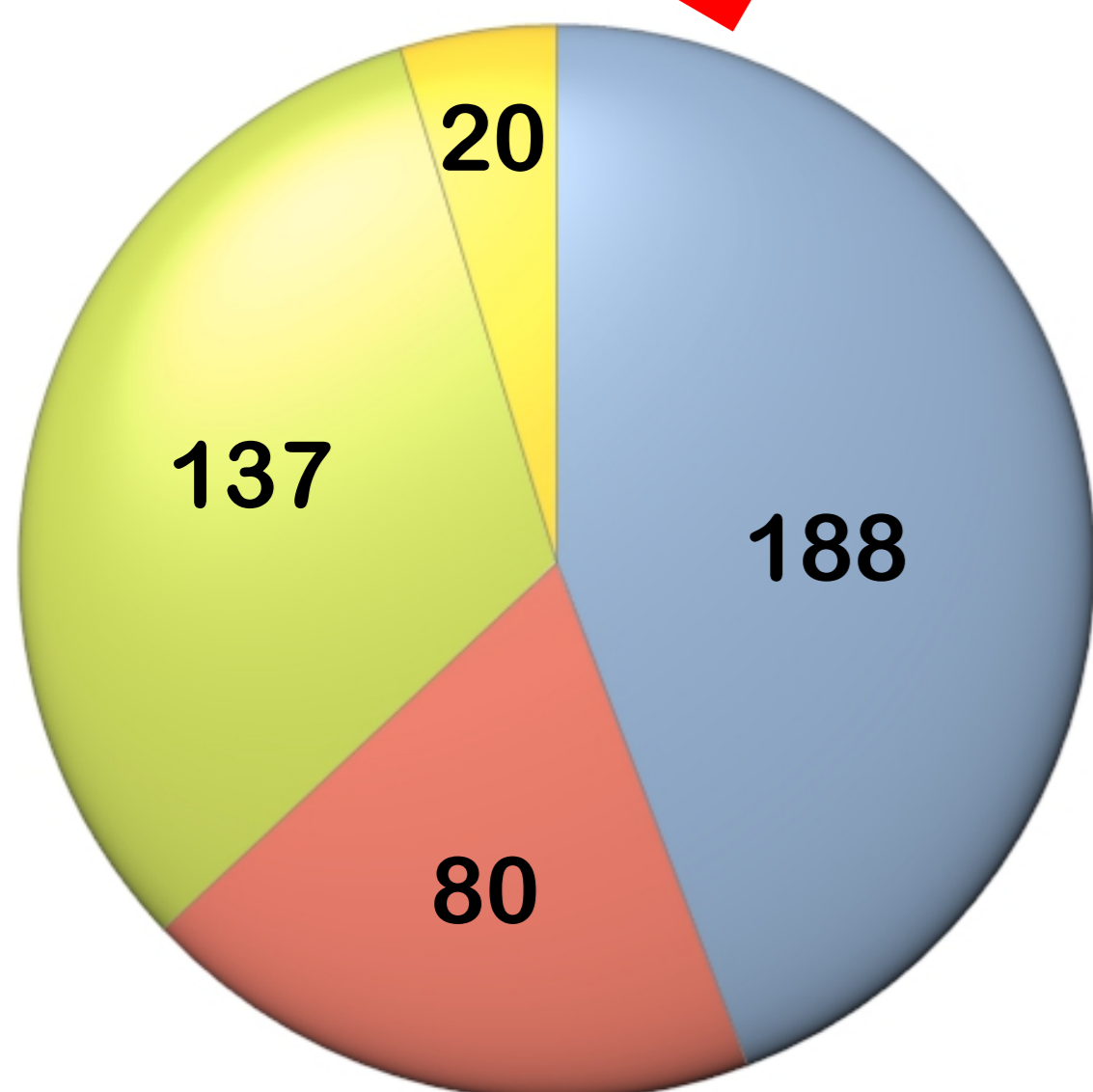
原子力規制委員会の審査に合格した
原子力発電所は運転を再開すべき



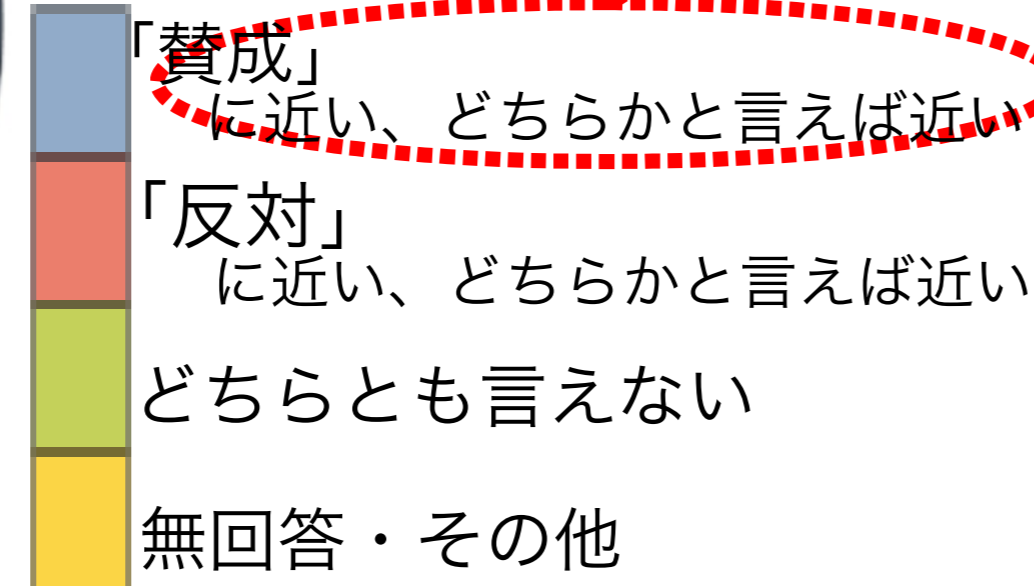
人数の変化



2012年12月衆院選

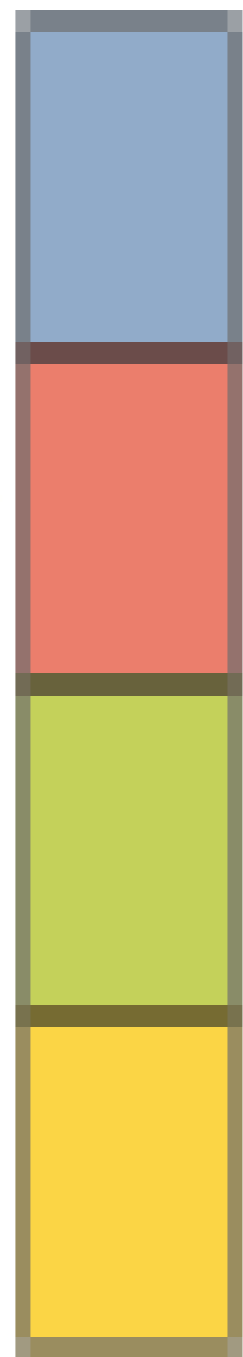
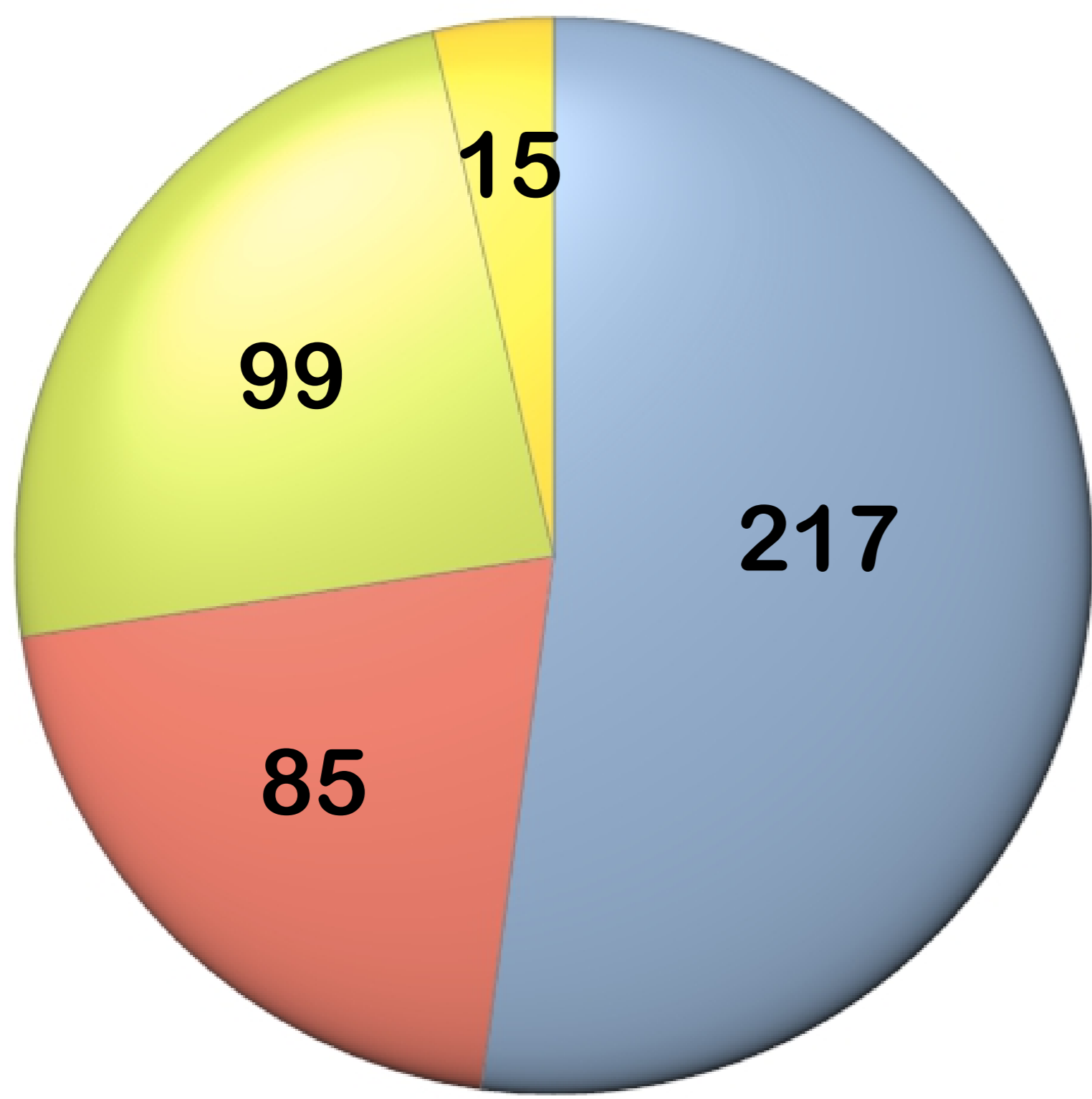


定期検査で停止中の原子力発電所の
運転再開はやむをえない



原発ゼロか存続か？

2014年12月衆院選



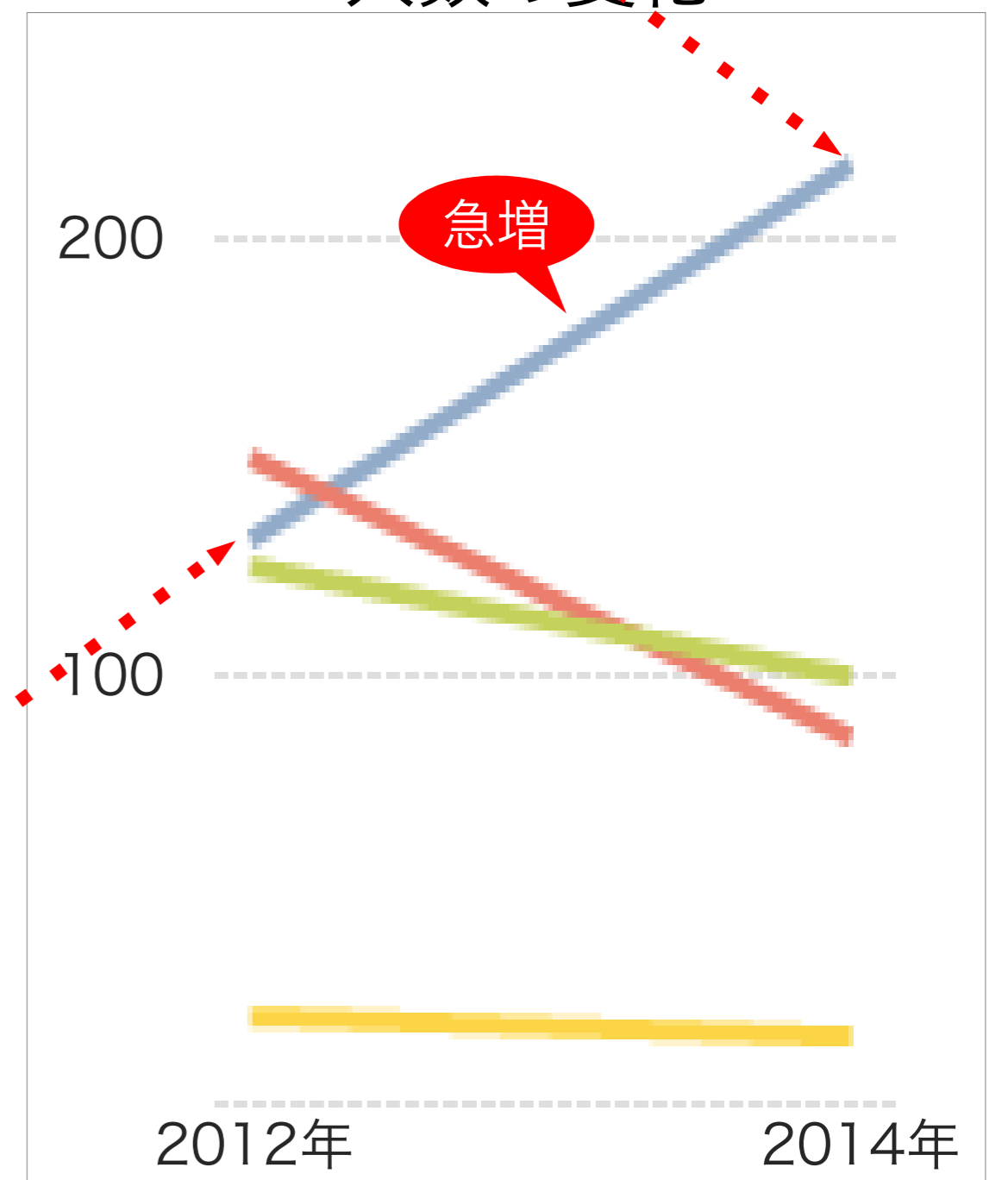
「将来も原子力発電は動力源のひとつとして保つべきだ」に近い、どちらかと言えば近い

「いずれも原子力発電を廃止すべきだ」に近い、どちらかと言えば近い

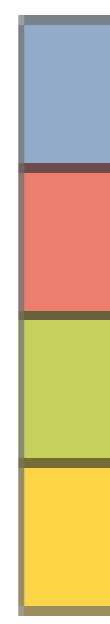
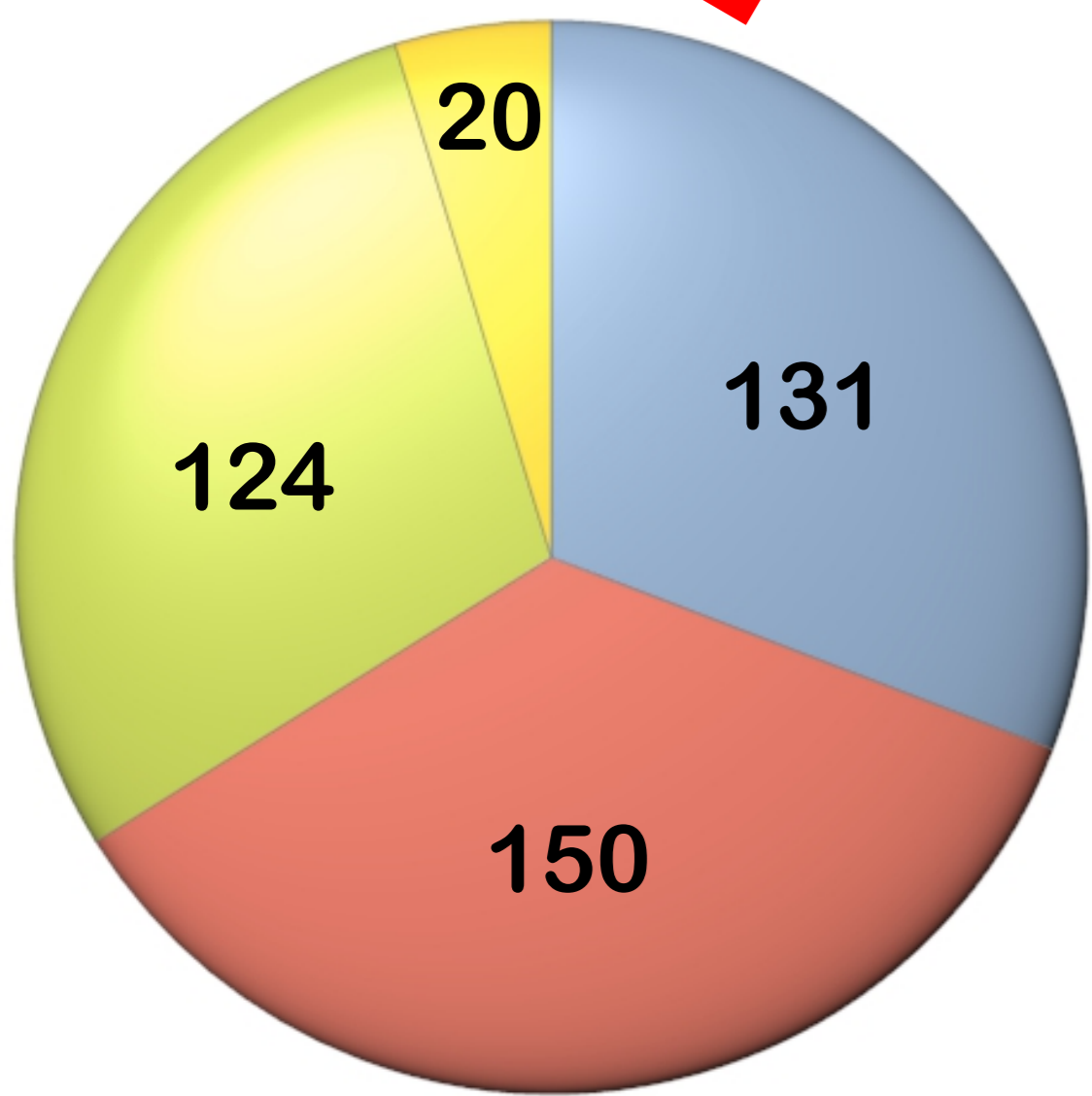
どちらとも言えない

無回答・その他

人数の変化



2012年12月衆院選



「2030年代より後も原発は電力源のひとつとして保つべきだ」に近い、どちらかと言えば近い

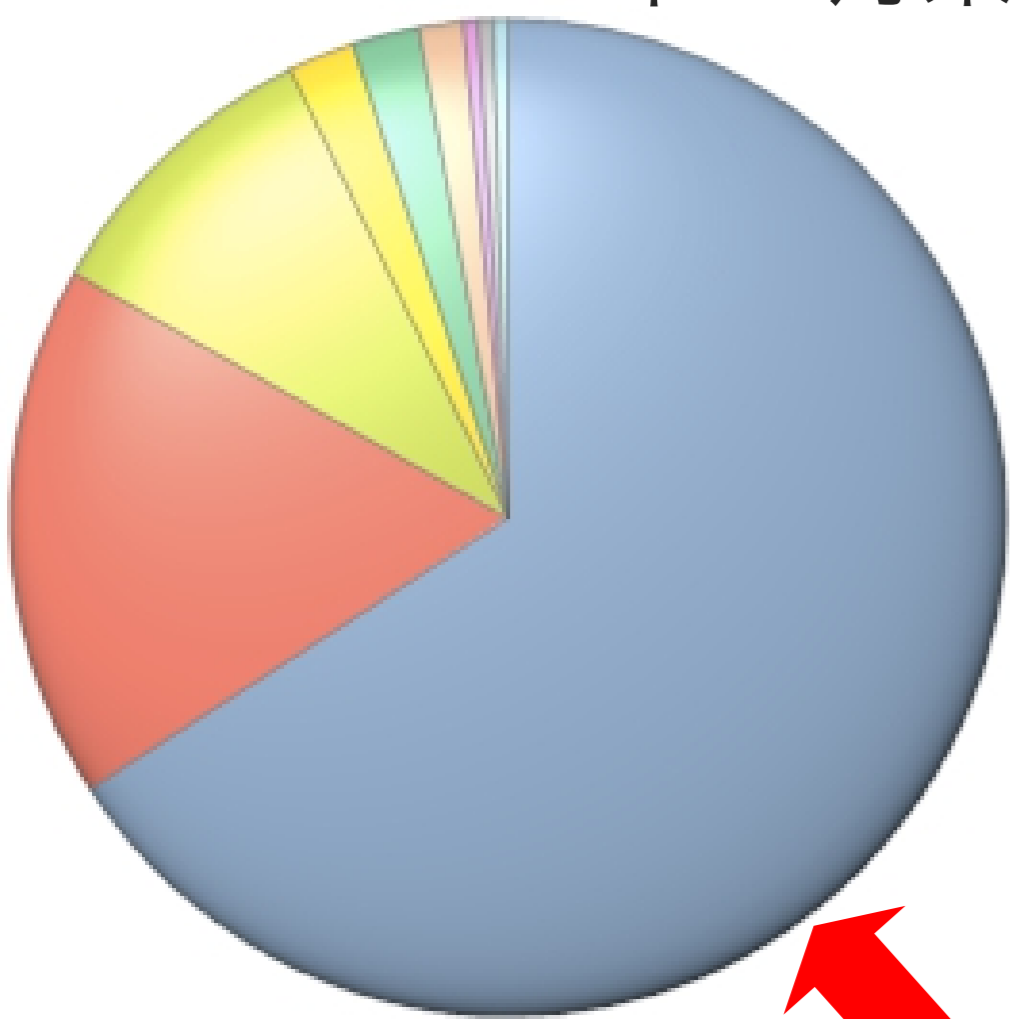
「電力に占める原発の比率を、2030年代までに0%にすべきだ」に近い、どちらかと言えば近い

どちらとも言えない

無回答・その他

ちなみにこの回答者の党別人数は

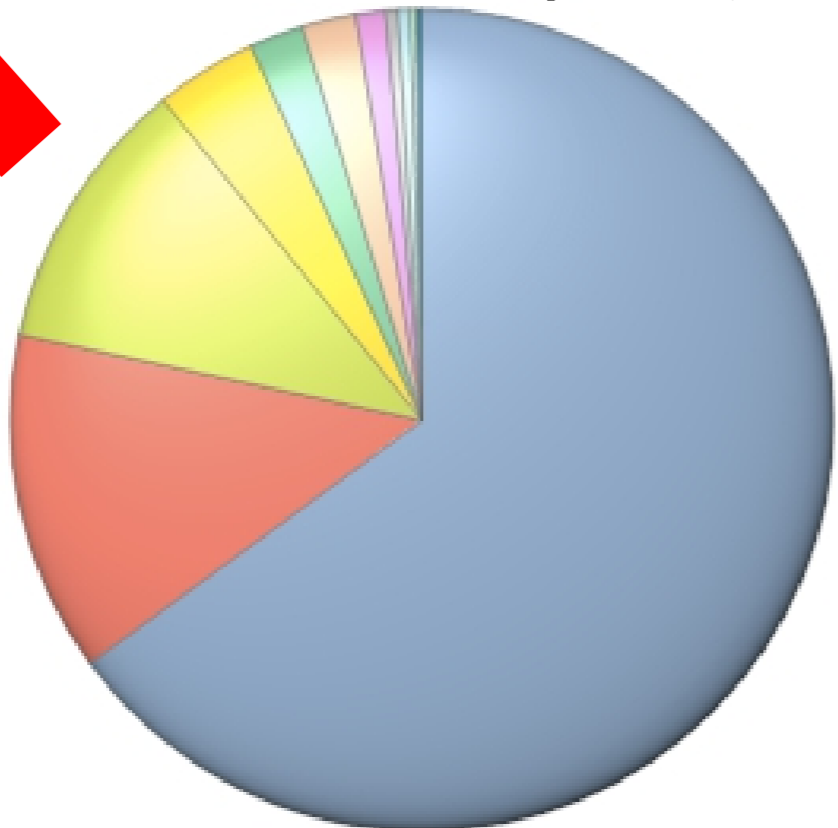
2014年12月衆院選



所属	人数
自民	274
民主	72
維新	40
公明	9
無所属	9
共産	6
次世代	2
生活	2
社民	2

上位3位までの自民、民主、維新以外は並び順や色が異なるので注意

2012年12月衆院選



所属	人数
自民	276
民主	57
維新	46
みんな	17
未来	9
公明	9
無所属	5
社民	2
共産	2
大地	1
国民新	1

少しだけ感想を

結果をせっせと集計しながら、「もしや。。」と思いましたが、案の定。

2年前の衆院選と比較すると、党別の人数は大きな差はありません。さらに今回(2014年)の衆院選で当選した新人議員は小選挙区4人、比例39人のみ(参考資料③)ということは、それほど顔ぶれは大きく変わらなかったとも言えそうです。

ざっくり人数の動きだけで見ると再稼働については「どちらとも言えない」人達が再稼働賛成に流れ、原発ゼロについては「どちらとも言えない」に加えて「2020年代にゼロ」と言っていた人達が将来も維持すべきという考えに流れたように見えます。

なぜ??
忘れちゃったの?
何も考えていないの?
一人ひとりの議員にしっかり話を聞いてみたいもんです。

参考資料

- 朝日・東大谷口研究室共同調査 (2014衆院選)
<http://www.asahi.com/senkyo/sousenkyo47/asahitodai/>
- 朝日・東大谷口研究室共同調査 (2012衆院選)
<http://www.asahi.com/senkyo/sousenkyo46/asahitodai/>
- 時事通信HP 衆院選/新人候補者の当選者数 (2014年12月)
http://www.jiji.com/jc/graphics?p=ve_pol_election-syugiin20141215j-09-w390